

熊本市議会、中心街再開発の予算凍結

[ツイートする](#)[おすすめ](#)

19

[m チェック](#)

熊本市議会の予算決算委員会は22日、総額2854億2000万円の新年度一般会計当初予算案を可決した。ただ、中心市街地の桜町・花畑地区の再開発事業に関しては、議会や市民に対する説明が不十分として、5月末まで専門で審査する特別委員会の設置を求める付帯決議を賛成多数で採択。同特別委の結論を得るまで約17億円の関連予算の執行を事実上、凍結した。

同事業の新年度の関連予算案は、コンベンション施設の基本計画策定費（2200万円）、市産業文化会館の解体費（1億9700万円）、花畑地区の民間用地買収費（15億円）。

市の提案に対し、予算決算委では、「議会への報告がなく、市民に対しても説明不足」「巨額の投資を伴うが本当に街の活性化につながるのか」など追及する意見が相次いでいた。

幸山政史市長は、事実上の予算凍結について、「特別委員会で理解を得られるよう最善を尽くす」とのコメントを出した。

両地区の再開発事業で市は桜町地区にコンベンション施設を整備し、花畑地区では閉館中の市産業文化会館を取り壊して多目的広場を整備する計画。

（2013年3月23日 読売新聞）